



日本テクノ・ラボ（株）
(札幌アンビシャス：3849)

**2023年3月期 第3四半期
決算補足説明資料**



January 31, 2023

<https://www.ntl.co.jp/>

3Q総括と4Qの取り組み

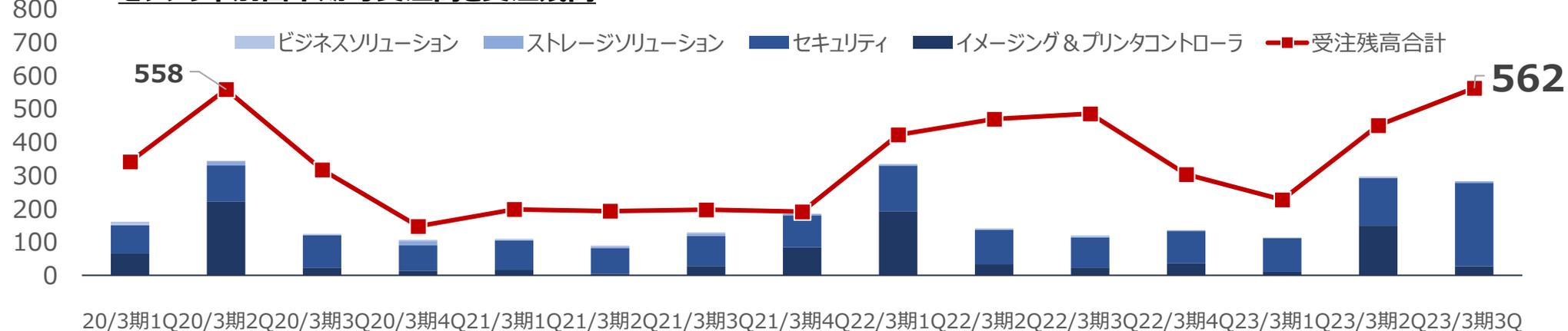
3Q総括

売上高 **4.83**億円 前期比 **+42.9%** 受注残高 **5.6**億円

- イメージング&プリンタコントローラ事業、セキュリティ事業を中心に受注状況は活発。
- 受注残高は5.6億円と2020年3月期2Q（5.5億円）を超える非常に高い水準。
- 半導体不足により一部製品の納品に遅れが発生。

(単位：百万円)

セグメント別四半期毎受注高と受注残高



損益計算書サマリー

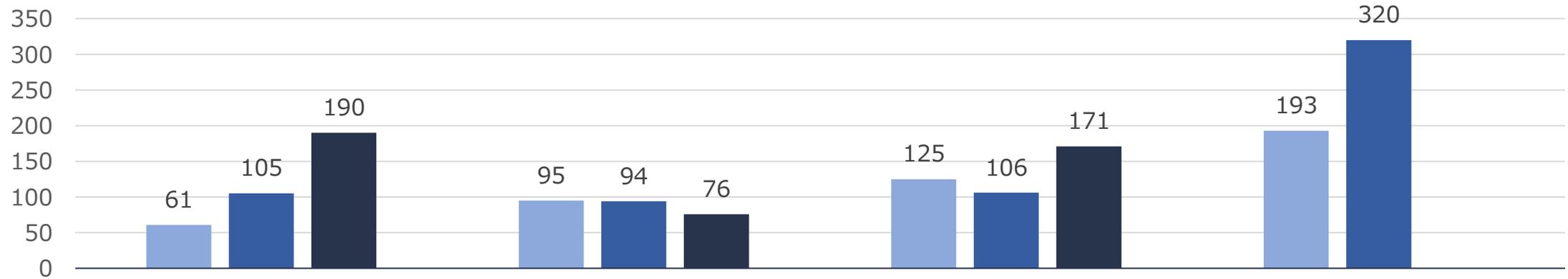


単位：百万円	2023/3期 3Q実績	2022/3期 3Q実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	438	306	+131	+42.9%
営業利益	13	△122	+136	-
経常利益	6	△109	+115	-
四半期純利益	1	△76	+77	-

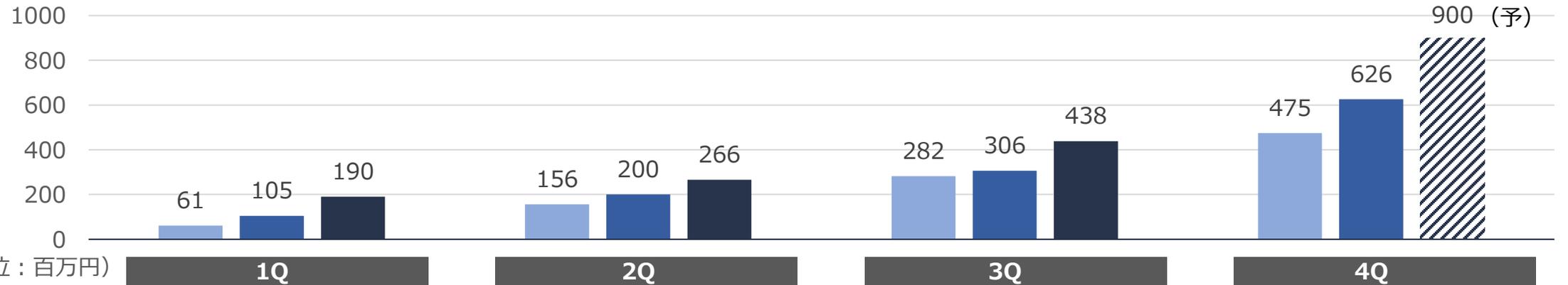
四半期業績推移 (売上高：過去3期比較)

四半期毎の売上高推移

■ 2021/3期 ■ 2022/3期 ■ 2023/3期



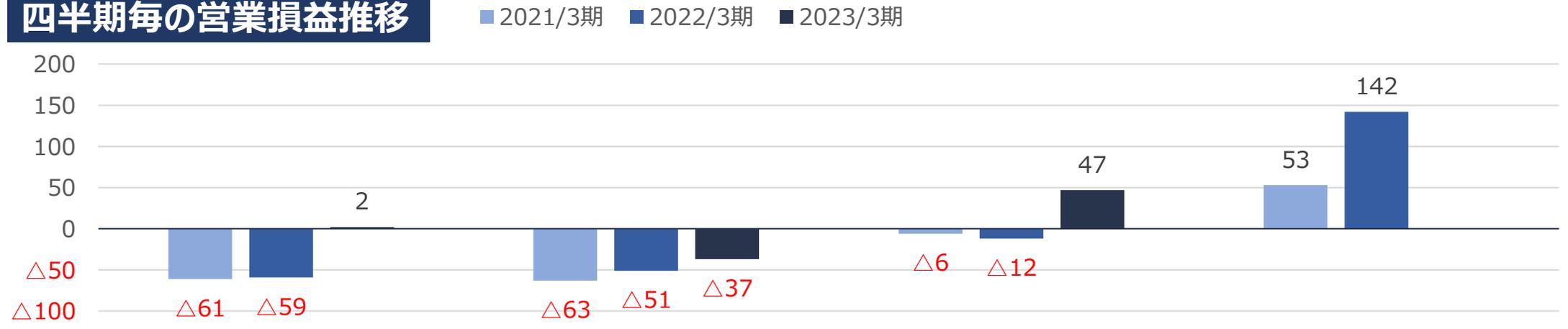
累計売上高推移



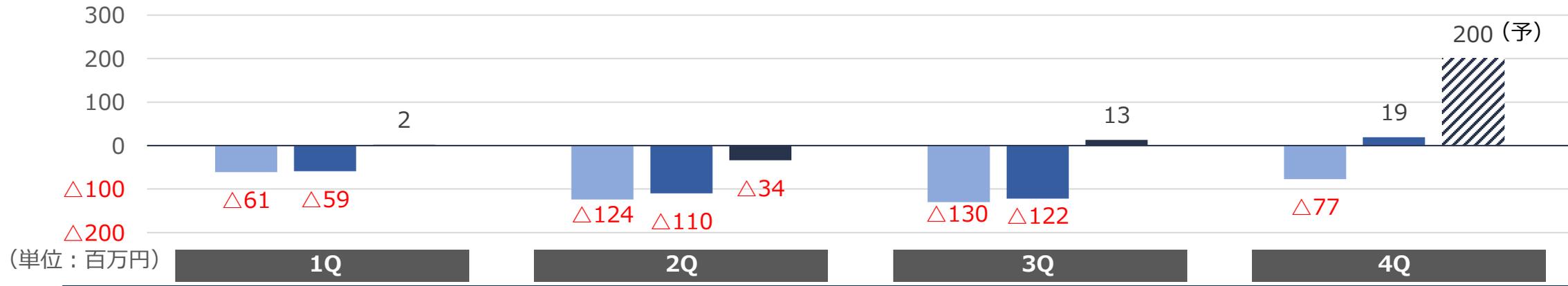
(単位：百万円)

四半期業績推移 (営業利益：過去3期比較)

四半期毎の営業損益推移



累計営業利益推移



事業領域：セグメント



セグメント別情報 売上高／セグメント利益



単位：百万円		2023/3期 3Q		2022/3期 3Q		前年同期比較	
		売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
イメージング&プリンタコントローラ	売上高	171	39.2%	142	46.3%	+29	+20.9%
	セグメント利益	70	-	41	-	+29	+72.4%
セキュリティ	売上高	258	58.9%	143	46.7%	+114	+80.0%
	セグメント利益	64	-	△63	-	+127	-
ストレージソリューション	売上高	7	1.8%	10	3.4%	△2	△23.5%
	セグメント利益	△31	-	△11	-	△19	-
ビジネスソリューション	売上高	0	0.1%	10	3.5%	△10	△96.5%
	セグメント利益	0	-	△3	-	+3	-

貸借対照表

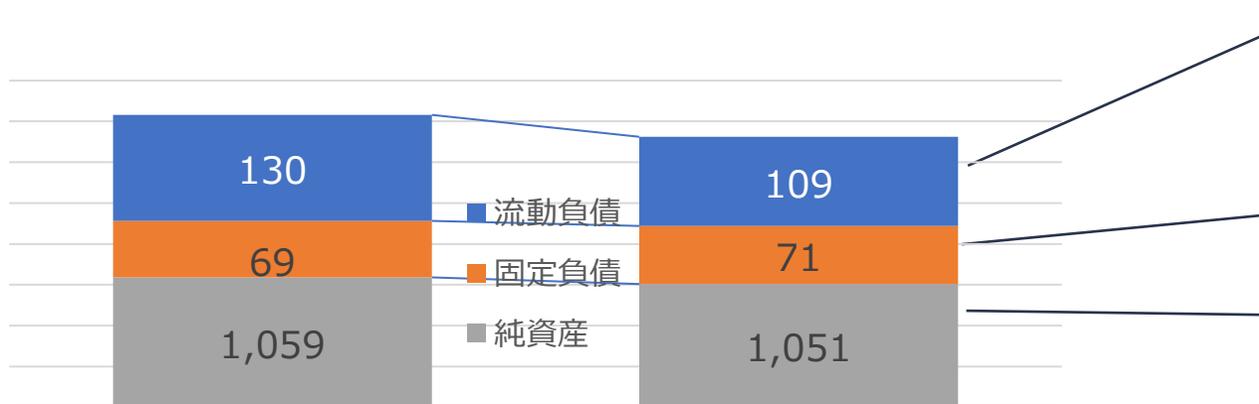
22/3期末

22/12月末



【主な増減要因】
 現金及び預金：90百万円増加
 仕掛品：23百万円増加
 短期貸付金：10百万円増加
 前渡金：8百万円増加
 受取手形及び売掛金：163百万円減少

保険積立金：4百万円増加
 有形固定資産：2百万円減少



契約負債：9百万円増加
 未払消費税等：13百万円減少
 買掛金：13百万円減少

繰延税金負債：1百万円増加

利益剰余金：6百万円減少

単位：百万円

イメージング & プリンタコントローラ事業



**主要顧客から高額案件受注。
受注残高1.9億円。一部の部品についてサプ
ライチェーンの混乱により納品遅れ気味。**

ニューノーマルの生活様式が浸透する中でパッケージデザイン等における多様性、短納期のニーズが拡大。高機能なインクジェットプリンタコントローラへの期待が高まっている状況に変化無し。

コロナ禍でストップしていた主要顧客のプロジェクトが始動。継続的に受注の見込み。

受注残については早期納品に向け追加機能開発に邁進中。

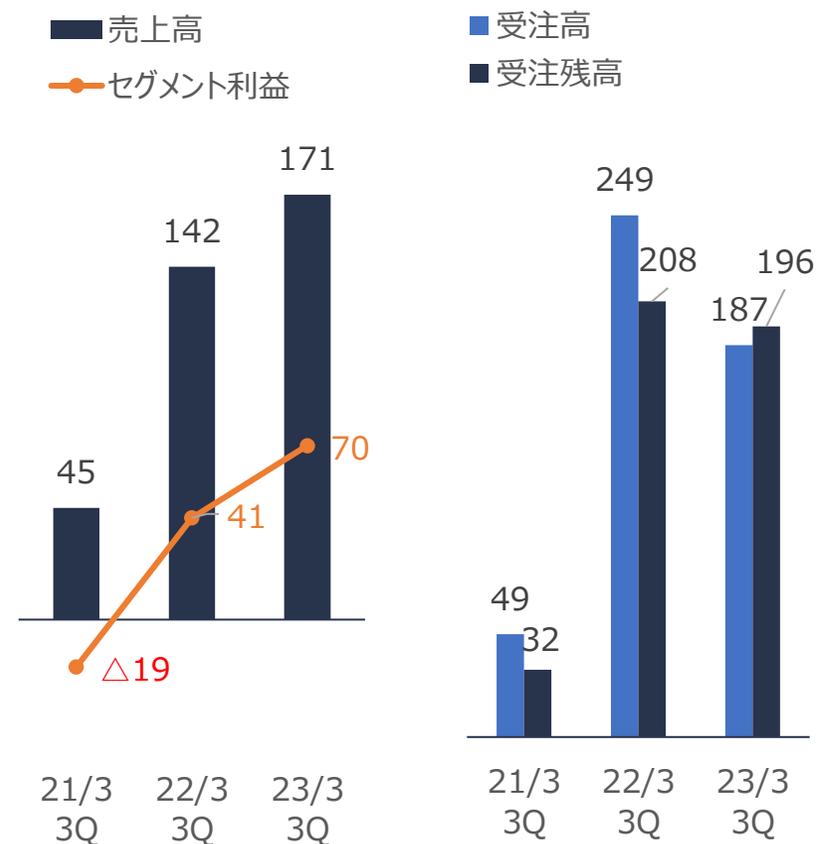
採用が確定した大型案件

(株) シンク・ラボラトリー最新デジタル印刷機FXIJ

(株) 小森コーポレーション次期グローバル戦略モデルNSシリーズ

セグメント別業績推移

単位：百万円



セキュリティ事業



5千万円を超える受注3件獲得。
情報は自治体からの引合い、受注活発。
受注残高は3.5億円と高水準。

【情報】

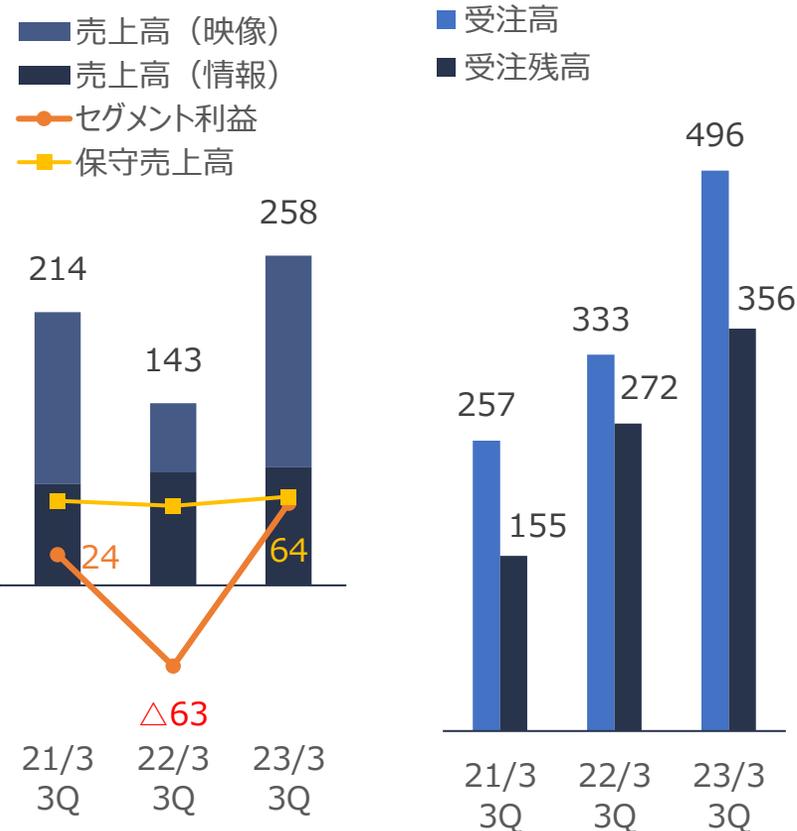
主力製品SPSEが前期総務省に採用されたことをきっかけに、自治体からの引合い増加。新たな受注獲得。

【映像】

- 大型受注：自治体向け防災管理システム、電力向けセキュリティシステム、大手事業会社向け車両管理システム
- 映像のAI解析機能の研究開発に注力。
- 原子力発電所などプラント監視案件も引合い増加。
- 「医学部向けOSCE試験対策用システム」は数十大学から受注予定。

セグメント別業績推移

単位：百万円



ストレージソリューション事業



LTOテープを利用したソリューションは好感触。大手製造業から受注獲得見込み。

脱炭素社会の動きの一環から、省電力の観点からも、ビッグデータ保存用途として、医療現場、医療研究機関等からの引合いは増加。

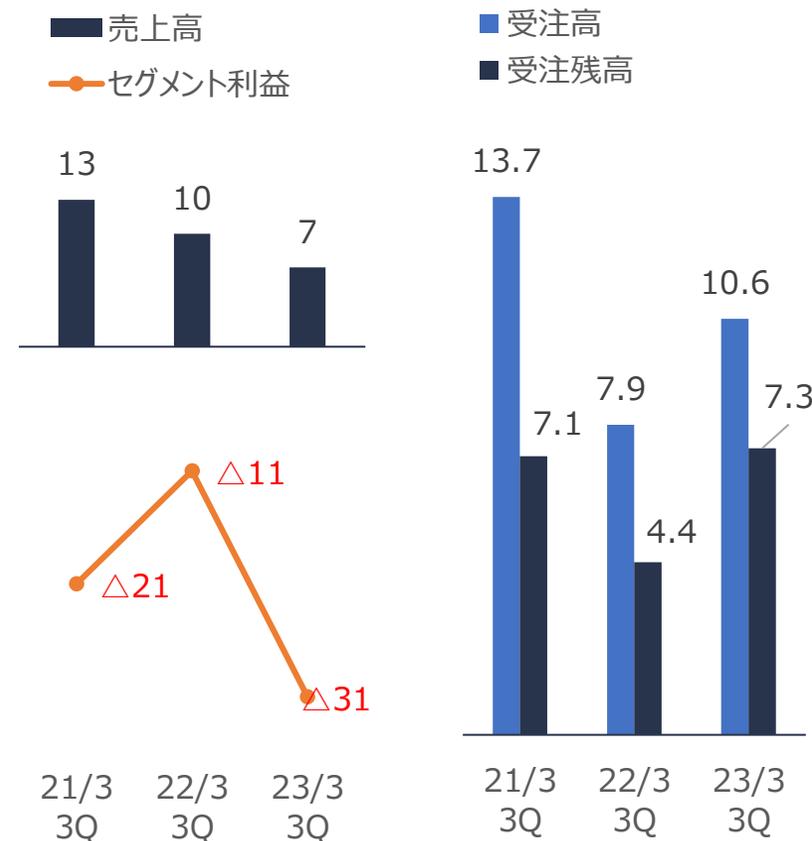
顧客ニーズに合うソリューションの提供により黒字化を目指し営業展開。

LTO (Linear Tape-Open) の特長

- **長期間のデータ保存が可能**：磁気テープは30年を超える期待寿命を持ち、長期間のデータ保存に向く。
- **データ転送速度**：最新世代であるLTO-9の伝送速度は、非圧縮時において400MB/s、圧縮時で900MB/s。HDD=150MB/s程度、SATA接続のSSD=500MB/s程度
- **低コスト・省エネルギー**：HDDなどと比較するとデータの保管可能容量が大きいことに加え、メディアそのものの価格も安価。使用時に通電の必要がないため、消費電力も小さい。

セグメント別業績推移

単位：百万円



2023年3月期通期業績予想



4Q以降の取り組み

- ▶ 通期業績予想達成に向け、受注済み案件の早期納品に取り組む。
- ▶ 顧客ニーズを先取りし各製品の機能強化に向けR&Dにも注力。

	2023/3期 予想	2022/3期 実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	900	626	+273	+43.5%
営業利益	200	19	+180	+924.6%
経常利益	200	33	+166	+504.8%
当期純利益	120	22	+97	+443.8%

中期成長イメージ



少数精鋭

Only Oneの技術

セキュリティ 情報

セキュリティ 映像

セキュリティ 教育映像

ストレージソリューション

イメージング&プリンタコントローラ

ビジネスソリューション



<https://www.ntl.co.jp/>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。